

育成センターだより

編集・発行 千曲市少年育成センター
事務局：千曲市教育委員会 生涯学習課内
お問い合わせ：TEL 273-1111 内線 6341

【児童・生徒の教育相談】

- * 相談日・時間
土・日曜日及び祝日を除く毎日
AM9:00～PM5:45
- * 場 所
市総合教育センター内（埴生中学校敷地）
教育相談センター
電話相談・面接相談 273-5105（直通）
(秘密厳守)

【青少年の生活相談】

- * 相談日・時間
原則として月・水・金曜日とします
AM9:00～PM4:00（要・予約）
- * 場 所
千曲市役所 戸倉庁舎 3階
少年育成センター（生涯学習課内）
電話相談・面接相談 273-1111（内線 6344）
(秘密厳守)

今月の家庭の日8月21日（日）

二学期を迎えるにあたり、子どもの夏休みの様子を見返し、心新たにして勉学に取り組み、規則正しい毎日を過ごせるよう、家族全員で支えていきましょう。

メールでも相談をお受けします

（24時間受付）

[E-mail : youth@city.chikuma.nagano.jp](mailto:youth@city.chikuma.nagano.jp)

相談員がメールでお答えします。
(秘密厳守)

地域の皆様方のご協力を

東地区少年補導委員

東小学校の「子どもを考える会」に出席した時のことです。学校側より、児童の登下校の「見守り隊」の説明があり、ボランティアで朝夕ご協力いただいている方が年々減少されているとお話がありました。地域の子ども達はその地区の大人達で守っていきこう、という気持ちが必要だと強く感じました。地域の皆様に現状をお話してご理解いただき、ぜひご協力いただけるようお願いしていききたいと思います。

また、駐在所の方より、不審者対策として「声掛け」は非常に効果がある、というお話がありました。東部地区でも、昨年度何回も注意情報が出されているとのこと。声掛けされると、不審者はその地域には近づきにくくなるという心理が働くようです。ぜひ実行したいと考えています。

中高生には、携帯電話・スマートフォン・インターネットなどの利用により、親達には分かりえない世界がありそうです。場合によっては、知らないうちに犯罪に巻き込まれていたり、罪を犯してしまったりするケースも現実には数多く出ています。

私達少年補導委員は、駅・コンビニ店・スーパー・本やCDを販売している少年達が集まりそうなお店も定期的に巡回します。何か異常を察知した時には、警察署・駐在所の方にすみやかに連絡をしていただけるよう、しっかりお願いをしていきたいと思えます。補導委員も連絡を取り合い、効率よく市内をパトロールしていく事が大事だと考えています。

家庭だけでも、学校だけでも対応できない事が有ります。地域全体で本当に協力し合い、子ども達を守って行かなければと強く感じています。

第3日曜日は家族ふれあう「家庭の日」 増やそう会話、つくろう思い出！

— 食育で守る健康な家族 —

～ 7月の補導委員会議より～

7月4日に定例補導委員会が開催され、以下の事項等について協議・連絡を行いました。

1 補導委員会会長より

- ・学校の爆破予告電話や放課後の不審者情報に対応し、青パトで臨時巡視をした。
- ・青パト巡視中、住民から得た情報への対応。放置された車輛があり、警察署に知らせ対処した。
- ・長年願いをしてきた、「長野県子どもを性被害から守るための条例」、7月1日県会可決。

2 5・6月の補導活動を振り返って

3 「青少年の非行・被害防止全国強調月間」県下一斉街頭啓発活動：屋代駅にて実施

- ・7月1日 7:00～8:00 地方事務所・千曲警察署・生涯学習課・補導委員会（会長）参加

4 7・8・9月の補導計画について

- ・通常補導 ・夏祭り特別巡回 ・有害環境チェック活動 ・夏休み中の合同補導 など

5 長野県青少年補導活動推進大会への参加日程など 7月15日（金）飯田市鼎文化センター



補導日誌から



元気のいい子どもはさすがらしい

6月6日（月） 5:00pm～7:00

小船山公園では、8人の小学生がバスケットをしていました。内川公園では、小学生がゲーム機で遊んでいましたが、他の4人位の小学生はバスケットをしていました。バスケットをして走り回る子ども達の元気の良さが、さすがらしく感じました。

元気をもらいました

6月6日（月） 5:00pm～7:00

屋代高校前駅、清掃の行き届いた構内に入ると、プランターに植えられた花々が綺麗に咲き揃い、お客さんを迎えてくれています。管理が行き届いていました。帰路を急ぐ中高生からは、心地よい挨拶を次々ともらいました。梅雨に入った曇天の空とは違い、心は快晴。このような子ども達に元気をもらいました。科野の里ふれあい公園では、6時半を回った時点で8名ほどの中学生と思われる子どもが遊んでいました。時間を告げそっと帰宅を促すと、快く帰路についてくれました。

心づかいに感謝です

6月8日（水） 5:00pm～7:00

三本木公園では、小学生15人位がボール遊びをし、幼児と同伴の親たちが数人いました。公園管理を委託されている方から、雨が降らず砂ほこりが立つので水まきをしているというお話をお聞きしました。ありがたいことです。また、ペットボトル等のゴミを置いたままにしていく利用者や、トイレトペーパーをムダに使う者がいる等のマナーに対する苦情もお聞きしました。学校の教頭先生にもお伝えし、子ども達への指導をお願いしてきました。

陽が長くなります…帰宅を促す声掛けを

6月20日（月） 5:00pm～7:00

ねむのき公園には、3人の子ども。いつもこの公園で遊んでいるとの事、ゴミ等の散乱もなくトイレもきれいに使われていました。稲荷山公園では、ボランティアで花壇に水をやっている人がいました。子どもの姿はなく、トイレを確認、問題ありませんでした。桑原運動場では、5、6人の中学生が野球をしていました。部活、クラブ以外に野球に興じる中学生を久しぶりに見ました。伊勢宮神社では、

15、6人の子ども達がボールや遊具で遊んでいました。「何時に家に帰るの？」の問いかけに、「6時に帰る！」と口をそろえて答えました。元気よく挨拶する子どももおり、大変気持ち良かったです。陽が長いこの時期、遅くまで遊ぶ子どもに早い帰宅を促すことが大事になってきます。

どこで学んでいるのでしょう

6月21日(火) 3:00pm~5:00

お宮の前にある横断歩道での出来事です。3~4人の低学年の男子が渡るので、一時停止をしました。子ども達が渡り終えた時、一人の男子が私達に対して頭を下げて「どうぞ行ってください」と手で合図をしたのです。一時停止をした時に『有難うございます』と頭を下げる子はいますが、手で誘導(どうぞ行ってください)する子どもさんは、初めての経験でした。ほのぼのとした気持ちになりました。その子からは、安全運転に注意しなければならない事を改めて教わりました。(巡回時刻変更)

みんなで作った環境を大切に

6月23日(木) 5:00pm~7:00

高速道路高架橋の工事に伴い、高架下(通学路)は以前感じていた薄暗い無気味さのあったイメージを脱していました。地下道には屋代小学校卒業生(当時6年生)と、同保護者、絵手紙同好会によるたくさんの思い出がある屋代小学校が描かれていました。トンネル内の照明も明るく、非常に良い環境でした。ただ、残念なことに大きく描かれたバスの中に落書きがありました。これほど大きな落書きは珍しく、一部消されているが悪質ではないかと思いました。

「ありがとうございました」は素敵です

6月23日(木) 5:00pm~7:00

道路を右に行ったり左に行ったりと、学校を終えて気が緩んだのか、のんびりと家路へ向かう小学生2人の「問題行動(歩行)」に出会いました。2人の子ども達は、補導委員の声掛けに素直に従ってくれました。驚いたことに、私達補導委員と話し終えたあとに、「ありがとうございました」という言葉が返ってきました。家庭や学校での指導が行き届いていることを感じ、好感が持てました。

警察と連携して

6月24日(金) 5:00pm~7:00

屋代駅の北側駐輪場脇で、高校生男女各4名、少し違和感がある様子でたむろしていました。駅前交番の警察官にも話し、情報交換をしました。警察官に見回りを依頼し、対処いたしました。

編集室の窓

「割れ窓理論」を意識すると地域が変わります

「地下歩道が暗く落書きもあり、子どもがそこを通ると怖がる」平成14年に地域の方の声が新聞に載りました。小中学生や地域の方が利用する地下歩道を「落書きのない明るい地下道づくり」にするため、長野国道事務所のご協力を得た屋代小学校の6年生が、「栗佐北地下歩道の壁画(北壁面)」を完成しました。以後、6年生を中心に地域の皆さんや中学生を巻き込んだ地下歩道の壁画制作が続きました。

1台の放置自転車をそのままにしておくと、2台・3台と増えてしまいます。「ここでは何をやってもいいんだな」という雰囲気生まれ、「犯罪」が起りやすくなる、逆に常に整えられていると、「ここは止めておこう」という気持ちになっていく…「割れ窓理論」と言われます。この地下歩道の壁画の制作は、「割れ窓理論」による環境美化活動の象徴でもありました。

身の回りでこの「割れ窓理論」を意識してみてください。一人一人のちょっとした気働きにより、環境が整っていきます。それは、そこで生活する子ども達や、周囲の皆さんの心に直に響いていきます。

子ども達が、粘り強く意欲的に取り組んでいくためには、夢や目標をもち、その達成に向けて取り組むことが何よりも大切です。今の子ども達には夢がない、と言われていました。そんな子ども達が、どんな夢をもち、どのように立ち向かっていこうとしているかを紹介します。

「幸せな気持ちにさせる料理を」

ある時、テレビを見ていたら料理番組をやっていて、料理を食べていた人が「うまい！」と言っていてとてもうれしそうな顔をしていました。その笑顔を見ていたら、何だか私もうれしくなってきました。料理をつくった人は、もっとうれしいのではないかと思います。料理をつくるということはとても楽しいことのように思えてきました。たとえば家で夕食の時、私が「おいしい！」と言うとお母さんはとてもうれしいと言っていました。私はおいしいものを食べると、とてもしあわせな気持ちになります。調理師という仕事は、おいしい料理をつくることで、食べた人がしあわせな気持ちになれるし、自分もしあわせな気持ちになれるすてきな仕事だと思います。だから私は、高校を卒業したら専門学校に進んで料理の勉強をして、その後修行して、おいしい料理をつくる料理人になりたいです。



1年 太田 萌絵

「一人前のスポーツ選手に」

僕の将来の夢は、プロ野球選手になることです。そのためには努力が大切だと思います。しかし、それだけでもだめです。勉強もしっかりやってからこそ一人前のスポーツ選手になれるんだと思います。今の僕は忘れ物が多いと思います。だから、その忘れ物をしてしまうことを直さないと、自分ではプロ野球選手になれないと思います。これから、しっかりと忘れ物をしないことを決意して生活していきたいです。プロ野球選手になることは、とても難しいけれど、その目標をもとにがんばっていききたいです。

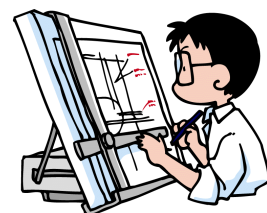


1年 小林 楓真

「日本を支える建築を」

僕の夢は、建築士です。ずっと憧れています。そのきっかけは、テレビのビフォーアフターという番組で家をリフォームしたりするのがすごいと思ったからです。そして、リフォームする家に住んでいる人は、すごくよろこんでいました。それを見て僕は、人に喜ばれるような家を設計していきたいと思いました。

しかし、建築士になるのは簡単ではないと思います。その夢を実現するためには、勉強が影響してきます。夢の実現のために勉強を頑張っていきたいです。そして、日本の伝統を受け継いでいくような設計をしていきたいです。



1年 小林 将輝